

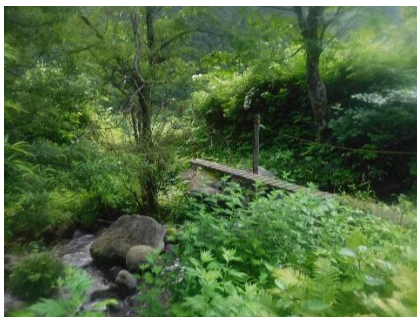
## 平家平～姥ヶ岳山行報告

【場所】 福井県大野市      【日時】 2021年6月26日土曜日 前夜発      【天気】 曇り  
【メンバー】 M川、S本、H川、M島、K、K泉、M谷、T部（報告）  
【コースタイム】 総行動時間約6時間20分 休息時間約1時間 歩行時間5時間20分  
距離約13Km      登り/下り 1034m/1032m（累計）

平家橋駐車場 6:50 →平家平駐車場（案内板）7:50 →大とちの木 8:20 →ブナ林（ベンチ）休息  
8:55=9:10 →山頂 10:20=10:50 →ブナ林（ベンチ）休息 11:40=11:50 →平家平駐車場（案内板）  
12:20 →平家橋駐車場 13:05

【概要】 福井県大野市の姥ヶ岳に前夜発、8名の参加。梅雨の時期に幸いにも天候は晴れ間と薄曇りで雨にも、熊にも会わずに無事下山できました。

平家平登山口までの作業道路は車では悪路ということで標高600mの平家橋駐車場から'自然観察道旧里道ルート'と言う名の急登りを約1時間歩いて標高1000mの'登山口案内板'まで登ります。このコースはトングリやブナ・ミズナラの植栽、オウレンの群生地など標高に応じて自然林が整備されています。登山口案内板からは舗装された作業道を少し下ると平家平、姥ヶ岳への案内があり登山道へ入ります。登山道を少し行くと樹齢600年という桁の大木への見学路の分岐があり、大トチノキを見学してからブナ林～山頂へのコースを選択します。平家平は600～1200mの標高に196haもの広さのなだらかな斜面が広がり、ブナの木が1万本以上植生していて散策コースとなっているようです。大トチノキは直径3m、周径は10m以上はありそうで、あまりの大きさにみんなで手をつないで幹を取り囲んでなんとか1周できました。それから平家平の四方に広がるブナ林の中を散策したり、ベンチで休息してゆっくりしました。地面には咲き終わったオウレンの葉が一面に広がりお花の季節にも歩いてみたい場所でした。この辺りまでは平家平駐車場からは平坦な道で観光の方も来られるようで、道も広くいくつかの散策路が整備されています。ブナ林の丘陵を後にしていよいよ登山口へ向かいます。



自然観察道に入っすぐ細い橋を渡る



平家平登山口の案内板に到着



大トチノ木を取り囲んでサイズを測定 7人で何とか1周

山道を少し下り水芭蕉の群生の案内盤がある辺りは湿原ですが水芭蕉の姿は見られませんでした。それから笹など刈られ整備された登山道を登ると山頂に到着しました。山頂は曇っており眺望は良くあり

ませんでした。地図で銀杏峰や白山の位置を確認してから行動食と M 川さんにお湯を沸かしてもらいコーヒーなど飲んでゆっくりすごしました。

下山は来た道をアップダウンして平家平のブナ林まで戻ってから、またベンチでゆっくりして、来た道と違うコースを散策しながら登山口案内板に戻り、自然観察道を平家橋の駐車場まで下りました。

山としては道標やテープも整備されて軽登山とブナ林や季節によってはオウレンなどのお花を楽しみながらのゆっくりした歩きには良いコースでした。



お昼は大野市の‘そばどころ梅林’で美味しい醤油カツ丼とお蕎麦のセットでお腹を満たし、禅の里温泉で汗を流して奈良まで帰りました。

